

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
39	概要調査	意見	<p>【意見】従来型の庁内利用中心のシステム開発を前提としたケースだけでなく、WEBサイトやアプリ、法制度対応、サーバ等の機器更新等の様々なケースに対応した企画(システム化計画)のあり方を検討・整備することが望ましい。また、これら分析は、委託経費等を人件費等に置き換える等によって、内製である職員開発システムにも適用させることが望ましい。</p>	<p>庁内利用型のシステムだけでなく、住民向けのWebサイト、アプリなどの様々なケースに対応したシステム企画のあり方について、職員開発システムへの適用も含め、現在検討しているところであり、その結果を令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。</p>
40	概要調査	意見	<p>【意見】100万円未満である等の正当な理由以外によって、予算要求前申請書提出を提出し予算要求前調達審査委員会で諮る手続が実施されていないことがないかについて再度点検することが望ましい。また、正当な理由以外によって同手続が実施していないことが判明した場合は今後、予算要求前のルール遵守を徹底させるべきである。また、これは委託経費等を人件費に置き換える等によって、内製である職員開発システムにも適用させることが望ましい。</p>	<p>今回の概要調査の「予算要求前調達審査委員会で諮る手続」に関する設問において「実施していない」又は「不明」と回答した80システムについて再点検を行ったところ、結果は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①調達審査していたが、していないと誤った回答をしていたもの 4システム ②調達審査の手続が漏れていたもの 2システム ③調達審査の制度が導入された平成18年以前にシステム調達が行われたもの 64システム ④調達審査委員会の審査対象の基準額(100万円)を下回るもの 8システム ⑤年度途中で急遽調達することになったもの 1システム ⑥他団体が調達したシステムで審査対象外であったもの 1システム <p>このうち、②の調達審査の手続が漏れていたもの(2システム)については、審査委員会で諮る手続を失念したものと考えられることから、このような手続漏れが発生しないよう、令和3年度当初予算要求前の申請書の提出依頼の際(9月)に再度周知徹底を行った。</p> <p>なお、平成24年度以降、職員開発システムにおいても、システム開発に係る人件費相当額が基準額以上の案件については予算要求前調達審査委員会で諮る取扱いとしている。</p>

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
41	概要調査	意見	<p>【意見】少額調達案件である等の正当な理由以外によって、情報政策課がシステム所管部署が作成した仕様書の内容をチェックし、調達開始前審査委員会に諮る手続が実施されていないことがないかについて再度点検することが望ましい。正当な理由以外によって同手続が実施していないことが判明した場合は今後、仕様書作成や調達開始前のルール遵守を徹底させるべきである。また、内製である職員開発システムにも適用させることが望ましい。</p>	<p>今回の概要調査の「調達開始前調達審査委員会に諮る手続」に関する設問において「実施していない」又は「不明」と回答した75システムについて再点検を行ったところ、結果は次のとおりであった。</p> <p>①調達審査の制度が導入された平成18年以前にシステム調達が行われたもの 64システム ②調達審査委員会の審査対象の基準額(100万円)を下回るもの 7システム ③審査していたが、していないと誤った回答をしていたもの 3システム ④他団体が調達したシステムで審査対象外であったもの 1システム</p> <p>今回、調達審査の手続が漏れていた事案は無かったが、今後とも、手続漏れがが発生しないよう、毎月掲示板等で周知徹底を行っているところである。</p> <p>なお、平成24年度以降、職員開発システムにおいても、システム開発に係る人件費相当額が基準額以上の案件については調達開始前調達審査委員会に諮る取扱いとしている。</p>
41	概要調査	意見	<p>【意見】小規模システムであっても必要最低限の内容のシステム開発・テスト等に関する実施計画書の提出・納品は徹底することが望ましい。内製による職員開発システムにおいても作成、承認することが望ましい。</p>	<p>職員開発も含め、情報システムの開発委託を行う場合は、開発、テスト等に関する実施計画書の提出・納品を義務付けることについて、令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。</p>
42	概要調査	意見	<p>【意見】小規模システムであっても、少なくとも要件定義書、設計書、テスト計画報告書等の主要な成果物の提出・納品は徹底することが望ましい。内製による職員開発システムにおいても作成、承認することが望ましい。</p>	<p>職員開発も含め、情報システムの開発委託を行う場合は、要件定義書、システム設計書、テスト計画報告書等の提出・納品を義務付けることについて、令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。</p>

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
43	概要調査	意見	【意見】内製による職員開発システム含め、少額契約であっても必要最低限の内容のシステム運用保守に関する実施計画書の提出・納品は徹底することが望ましい。	職員開発も含め、情報システムの運用保守委託を行う場合は、運用保守に関する実施計画書の提出・納品を義務付けることについて、令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。
43	概要調査	意見	【意見】少額契約であっても必要最低限の内容の（システム運用保守に関する）運用保守報告の提出・納品は徹底することが望ましい。内製による職員開発システムにおいても作成、承認することが望ましい。	職員開発も含め、情報システムの運用保守委託を行う場合は、運用保守報告書の提出・納品を義務付けることについて、令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。
44	概要調査	意見	【意見】運用保守に関して作業記録を提出させるルールを整備の上、作業記録の提出・納品は徹底することが望ましい。内製による職員開発システムにおいても作成、承認することが望ましい。	職員開発も含め、情報システムの運用保守委託を行う場合は、作業記録の提出・納品を義務付けることについて、令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。
45	概要調査	意見	【意見】システムの導入や改修によって、どのような費用対効果が生じたかを検証し次の改善に役立てるPDCAサイクルが上手く回る仕組みを検討・整備することが望ましい。また、これら検証は、委託経費等を人件費等に置き換える等によって、内製である職員開発システムにも適用させることが望ましい。	職員開発も含め、情報システムの導入・改修による費用対効果を検証し次の改善に役立てることのできる仕組みについて、令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。
46	概要調査	意見	【意見】軽度の障害含め、障害発生時はその事象と実施した対応についてシステム障害台帳として記録を残すことを徹底することが望ましい。内製による職員開発システムにおいても同様である。	職員開発も含め、情報システムの運用保守を行う場合は、システム障害の事象とその対応についての記録を残すよう義務付けることについて、令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
50	概要調査	意見	【意見】特に個人情報等の機密性3の情報資産を保有しているシステムについては、パスワード強度は人的な運用に頼らず、システムの的に強制適用することが望ましい。	機密性3の情報資産を保有する情報システムについては、システム開発又は更新等の際に、原則としてパスワード強度について強制適用する機能を実装するよう義務付けることについて、令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。
55	予算編成支援・財務会計システム	意見	【意見】利用されていないIDや不要に存在するIDが放置されないよう利用者ID及び特権IDの棚卸し点検を実施し、その承認の記録を残すことが望ましい。	利用者ID及び特権IDの棚卸し点検のルールについて、令和2年4月に情報セキュリティ手順の中で整備した。これ以降、当該ルールに基づき棚卸し点検を行い、その申請や承認の記録を保存している。
55	予算編成支援・財務会計システム	意見	【意見】取得したログを定期的に点検又は分析することが望ましい。	利用者IDのアクセスログの取得及び点検・分析のルールについて、令和2年4月に情報セキュリティ手順の中で整備した。これ以降、当該ルールに基づき、個人IDレベルでログを取得し、定期的に点検している。
58	香川県立ミュージアム資料管理システム	意見	【意見】平成26年度のシステム再構築において、その企画フェーズに関する書類が残されておらず、現状業務及び新業務に関する業務フローを作成する等によって導入効果等を事前評価・分析することが望ましい。	令和2年度のシステム調達においては、従来の業務内容を基本的に踏襲する方針としたことから、現状のクラウド型と、サーバを保有するパッケージ型の資料管理システムを比較検討した。また、令和8年度のシステム更改時には、システム企画フェーズにおいて、システムの導入効果等についての事前評価・分析を実施したい。
58	香川県立ミュージアム資料管理システム	意見	【意見】ITの知見のある者が見積書等の内容を精査し異常点等の洗い出しを行えるよう、今後は、より粒度の細かい(詳細な作業項目やその工数や単価等を含む。)見積書を入手することが望ましい。	令和2年度のシステム調達においては、システム提供事業者に対して、詳細な作業項目やその工数・単価等が記載された見積書の提出を求めた。

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
58	香川県立ミュージアム資料管理システム	意見	【意見】「香川県立ミュージアム資料管理システム導入・運用業務」における業務計画書が残されていない。当該業務の目的、対象業務、費用、スケジュール、業務提供体制等を明記し、それらについて業務開始時に合意しておくことが望ましい。	令和2年度のシステム調達においては、導入・運用業務に係る業務計画書を受託者から提出させ、業務開始前に当該業務の目的、対象業務、費用、スケジュール、業務提供体制等を明記した計画書の内容について受託者と合意した。
59	香川県立ミュージアム資料管理システム	意見	【意見】個人IDレベルで取得しているログについて、それらを定期的に点検又は分析することが望ましい。	現行システムは、他の博物館・美術館も利用している汎用システムであり、個人IDレベルでのアクセス記録（ログ）を取得することができない。当面はデータ閲覧のみの者と、データの内容を操作できる者のIDを館内において厳格に管理し、管理者IDの不正アクセスについては、台帳に操作内容を記録するなどして、監視できる体制を構築するようになりたい。
60	香川県立ミュージアム資料管理システム	意見	【意見】CMSの脆弱性を狙った改ざん等の自治体関連ウェブサイトへのサイバー攻撃が多発していることを踏まえると、今後の調達に際しては、ウェブサイトにも求められる具体的な情報セキュリティ対策を仕様書に明記することが望ましい。	令和2年度のシステム調達においては、独立行政法人情報処理推進機構が公表している「安全なウェブサイトの作り方」等を参考とし、仕様書にウェブサイトにも求められる具体的な情報セキュリティ対策を明記した。
62	香川県立ミュージアム資料管理システム	意見	【意見】約款による外部サービスを利用する場合は、利用に当たってのリスクが許容できることを確認した上で約款による外部サービスの利用を申請し、規程の整備を行う等の適正な措置を講じた後に利用することが求められる。	令和2年度のシステム調達において、外部サービスを利用する場合の情報セキュリティ要件について仕様書に記載したところである。なお、本業務の運用に当たって利用している外部サービスが当該要件を満たしていることを確認済である。
63	職員健康診断データ管理一元化システム	意見	【意見】PCについて、何らかの耐震対策を行うことが望ましい。	PCの耐震対策として、令和2年6月に耐震マットの設置を行った。
65	香川県防災情報システム	意見	【意見】CMSの脆弱性を狙った改ざん等の自治体関連ウェブサイトへのサイバー攻撃が多発していることを踏まえると、今後の調達に際しては、ウェブサイト（かがわ防災Webポータル）にも求められる具体的な情報セキュリティ対策を仕様書に明記することが望ましい。	次回のシステム調達時（令和7年度予定）の仕様においては、独立行政法人情報処理推進機構が公表している「安全なウェブサイトの作り方」等を参考とし、ウェブサイトにも求められる具体的な情報セキュリティ対策を明記することとしたい。

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
66	香川県防災情報システム	意見	【意見】ITの知見のある者が見積書等の内容を精査し異常点等の洗い出しを行えるよう、今後は、より粒度の細かい（詳細な作業項目やその工数や単価等を含む。）見積書を入手することが望ましい。	次回のシステム調達時（令和7年度予定）には、システム提供事業者に対して、詳細な作業項目やその工数・単価等が記載された見積書の提出を求めることとしたい。
66	香川県防災情報システム	意見	【意見】運用保守業務における仕様書において、重要機能のシステム停止時間に関するサービスレベル要件（SLA）を設定している。ただし、本システムの特性上、可用性（システム停止が起こらない）が強く求められるのは実際の災害時であるため、平常時と災害時に場合分けを行ったサービスレベル要件（SLA）を設定した方が望ましい。	次回のシステム調達時（令和7年度予定）の仕様書作成時に、平常時と災害時に場合分けを行ったサービスレベル要件（SLA）について、全国的な調査の結果などを踏まえ、仕様書に明記することとしたい。
69	香川県森林計画システム	意見	【意見】平成31年の改修に際しての事前検討を対象とした「経費分析（香川県森林計画システム等改修）」において、「システムの再調達」と「既存システムの改修」の2つの区分における経費が比較検討されているが総額のみ提示となっている。ITの知見のある者が見積書の内容を精査し異常点等の洗い出しを行えるよう、今後は、より粒度の細かい（詳細な作業項目やその工数や単価等を含む。）見積書を入手することが望ましい。	次回のシステム調達時には、システム提供事業者に対して、詳細な作業項目やその工数・単価等が記載された見積書の提出を求めることとしたい。
70	香川県森林計画システム	意見	【意見】利用されていないIDや不要に存在するIDが放置されないよう利用者ID及び特権IDの棚卸し点検に関する方法・手続を明文化し、また、その申請や承認の記録を残すことが望ましい。	利用者ID及び特権IDの棚卸し点検のルールについて、令和2年5月に情報セキュリティ手順の中で整備した。これ以降、当該ルールに基づき棚卸し点検を行い、その申請や承認の記録を保存している。
71	香川県森林計画システム	意見	【意見】個人IDレベルでのログ取得し、それらを定期的に点検又は分析することが望ましい。	利用者IDのアクセスログの取得及び点検・分析のルールについて、令和2年5月に情報セキュリティ手順の中で整備した。これ以降、当該ルールに基づき、個人IDレベルでログを取得し、定期的に点検している。

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
73	かがわ健康ポイント事業「マイチャレかがわ！」ホームページ	意見	【意見】CMSの脆弱性を狙った改ざん等の自治体関連ウェブサイトへのサイバー攻撃が多発していることを踏まえると、今後の調達に際しては、ウェブサイトにも求められる具体的な情報セキュリティ対策を仕様書に明記することが望ましい。	令和2年度の運用業務委託の仕様書において、独立行政法人情報処理推進機構が公表している「安全なウェブサイトの作り方」等を参考とし、ウェブサイトにも求められる具体的な情報セキュリティ要件を明記した。
74	かがわ健康ポイント事業「マイチャレかがわ！」ホームページ	意見	【意見】約款による外部サービスを利用する場合は、利用に当たってのリスクが許容できることを確認した上で約款による外部サービスの利用を申請し、規程の整備を行う等の適正な措置を講じた後に利用することが求められる。	令和2年度の運用業務委託において、外部サービスを利用する場合の情報セキュリティ要件について仕様書に記載したところである。なお、本業務の運用に当たって利用している外部サービスが当該要件を満たしていることを確認済である。
76	生活保護システム	意見	【意見】保守仕様書に成果物が明記されておらず、また、業務実績報告も特に存在しない。何らかの成果物を受領・検収することが望ましい。	次回のシステム更新時（令和3年度予定）の調達仕様においては、保守仕様書に成果物の納入について明記するとともに、業務実績報告書を受領・検収することとする。
79	難病等医療費助成システム	意見	【意見】運用保守については、最低限認識すべき内容について、運用保守に関する業務計画書等で毎年度明文化の上、合意することが望ましい。	今年度の運用保守について、委託事業者から業務計画書の提出を受けて、令和2年4月に、合意を行った。
80	難病等医療費助成システム	意見	【意見】利用されていないIDや不要に存在するIDが放置されないよう利用者ID及び特権IDの棚卸し点検に関する方法・手続を明文化し、また、その申請や承認の記録を残すことが望ましい。	利用者ID及び特権IDの棚卸し点検のルールについて、令和2年4月に情報セキュリティ実施手順の中で整備した。これ以降、当該ルールに基づき棚卸し点検を行い、その申請や承認の記録を保存している。
82	救急医療情報システム	意見	【意見】調達開始前までに意見招請を実施し、仕様書の中立性及び的確性を図り、入札の競争性を確保することが望ましい。	次回のシステム調達時（令和5年度予定）には、調達開始前までに意見招請を実施し、調達仕様書の中立性及び的確性を図り、入札の競争性を確保することとしたい。

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
82	救急医療情報システム	意見	【意見】システム再構築時のデータ移行業務において、ITの知見のある者が内容を精査し異常点等の洗い出しを行えるよう、今後は、より粒度の細かい（詳細な作業項目やその工数や単価等を含む。）見積書を入手することが望ましい。	次回のシステム調達時（令和5年度予定）には、システム提供事業者に対して、詳細な作業項目やその工数・単価等が記載された見積書の提出を求めることとしたい。
84	救急医療情報システム	意見	【意見】個人IDレベルで取得しているログについて、それらを定期的に点検又は分析することが望ましい。	利用者IDのアクセスログの取得及び点検・分析のルールについて、令和2年4月に情報セキュリティ手順の中で整備した。これ以降、当該ルールに基づき、個人IDレベルでログを取得し、定期的に点検している。
84	救急医療情報システム	意見	【意見】CMSの脆弱性を狙った改ざん等の自治体関連ウェブサイトへのサイバー攻撃が多発していることを踏まえると、ウェブサイト求められる具体的な情報セキュリティ対策を仕様書に明記することが望まれる。	次回のシステム調達時（令和5年度予定）の仕様においては、独立行政法人情報処理推進機構が公表している「安全なウェブサイトの作り方」等を参考とし、ウェブサイト求められる具体的な情報セキュリティ対策を明記することとしたい。
86	香川県児童相談所システム	意見	【意見】児童の相談情報等の関連資料（紙媒体）が児童毎に綴られて簿冊として執務室内の施錠付きキャビネットに保管されている。しかしながら、簿冊管理簿などによる台帳管理が実施されておらず、全ての簿冊が所定の場所に保管されていることをすぐには検知・確認することができるようにすることが望ましい。	児童の相談情報等の関連資料について、令和2年6月に、簿冊管理簿による台帳管理を行う運用に変更し、簿冊の保管場所をすぐに確認できるようにした。
87	香川県児童相談所システム	意見	【意見】現場視察の際に、システムにログインしたまま離席している職員が数名見受けられた。離席時のパソコン端末は他者が閲覧できない状態にすることが望まれる。	令和2年4月に離席時にはパソコンの蓋を閉じる運用に変更し、他者が画面を閲覧できないようにした。

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
87	香川県児童相談所システム	意見	【意見】機密情報を多く扱っている場合は(管理区域でなく、)執務区域であっても外部に通じるドアは必要最小限とし、鍵、監視機能等によって許可されていない者の立入りを防止することが望まれる。	通常、一般来庁者は執務室へ立ち入ることはないが、令和2年4月から、執務室奥の出入口に、一般の方は立入禁止である旨の張り紙を設置した。 また、執務室奥に位置する総務課の職員は、常時一名は必ず在席し、出入口からの一般の方の侵入の有無を確認できる体制にした。
88	香川県児童相談所システム	意見	【意見】個人IDレベルで取得しているログについて、それらを定期的に点検又は分析することが望ましい。	利用者IDのアクセスログの取得及び点検・分析のルールについて、令和2年4月に情報セキュリティ手順の中で整備した。これ以降、当該ルールに基づき、個人IDレベルでログを取得し、定期的に点検している。
90	求人・求職者登録システム「jobナビかがわ」	意見	【意見】「求人・求職者登録システム保守運用業務」について、実施計画書を作成することが望ましい。	今年度の運用保守について、委託事業者から実施計画書の提出を受けて、令和2年4月に合意を行った。
90	求人・求職者登録システム「jobナビかがわ」	意見	【意見】職員等の異動、出向、退職等に伴う本システムにおける利用者ID及び特権IDの登録、変更、抹消等に関する方法・手続を明文化することが望まれる。	職員等の異動、出向、退職等に伴う本システムにおける利用者ID及び特権IDの登録、変更、抹消等に関するルールについて、令和2年4月に情報セキュリティ実施手順の中で整備した。 これ以降、当該ルールに基づき申請・承認の手続を行い、その記録を保存している。
91	求人・求職者登録システム「jobナビかがわ」	意見	【意見】利用されていないIDや不要に存在するIDが放置されないよう利用者ID及び特権IDの棚卸し点検に関する方法・手続を明文化し、また、(ID管理台帳を作成して最新状態に確保しているとのことだが)棚卸の実施記録や承認の記録が残ることが望ましい。	利用者ID及び特権IDの棚卸し点検のルールについて、令和2年4月に情報セキュリティ手順の中で整備した。 これ以降、当該ルールに基づき棚卸し点検を行い、その申請や承認の記録を保存している。

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
91	求人・求職者登録システム「jobナビかがわ」	意見	【意見】個人IDレベルでのログを取得し、それらを定期的に点検又は分析することが望ましい。	利用者IDのアクセスログの取得及び点検・分析のルールについて、令和2年4月に情報セキュリティ手順の中で整備した。これ以降、当該ルールに基づき、個人IDレベルでログを取得し、定期的に点検している。
91	求人・求職者登録システム「jobナビかがわ」	意見	【意見】CMSの脆弱性を狙った改ざん等の自治体関連ウェブサイトへのサイバー攻撃が多発していることを踏まえると、今後の調達に際しては、ウェブサイトにも求められる具体的な情報セキュリティ対策を仕様書に明記することが望まれる。	次回のシステム調達時（令和3年度以降に検討中）の仕様においては、独立行政法人情報処理推進機構が公表している「安全なウェブサイトの作り方」等を参考とし、ウェブサイトにも求められる具体的な情報セキュリティ対策を明記することとしたい。
92	求人・求職者登録システム「jobナビかがわ」	意見	【意見】約款による外部サービスを利用する場合は、利用に当たってのリスクが許容できることを確認した上で約款による外部サービスの利用を申請し、規程の整備を行う等の適正な措置を講じた後に利用することが求められる。	次回のシステム調達時（令和3年度以降に検討中）には、約款による外部サービスを利用する場合は、利用に当たってのリスクが許容できることを確認した上で申請し、規程の整備を行う等の適正な措置を講じた後に利用することとしたい。
94	公営住宅管理システム	意見	【意見】直近のシステム再構築において、個人番号（マイナンバー）管理が導入された。そのため、企画フェーズにおいてはマイナンバーを導入することによって、いかに県民サービスの向上及び事務処理の効率化を行えるか、同時にどのような課題・問題点が発生するか等について、現状業務及び新業務に関する業務フローを作成する等によって導入効果等を事前評価・分析することが望ましい。	次回のシステム調達時（令和5年度予定）には、システム企画フェーズにおいて、システムの導入効果等についての事前評価・分析を実施したい。
94	公営住宅管理システム	意見	【意見】ITの知見のある者が見積書等の内容を精査し異常点等の洗い出しを行えるよう、今後は、より粒度の細かい（詳細な作業項目やその工数や単価等を含む。）見積書を入手することが望ましい。	次回のシステム調達時（令和5年度予定）には、システム提供事業者に対して、詳細な作業項目やその工数・単価等が記載された見積書の提出を求めることとしたい。

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
94	公営住宅管理システム	意見	【意見】軽度も含めた年間障害発生件数が10件以上あった。これらの障害件数を軽減することを目的に、SLA(運用サービス品質に関する目標)項目を強化することが望まれる。	次回のシステム調達時(令和5年度予定)には、契約に年間障害発生件数の軽減に資するような実効性のあるSLA項目を追加することとしたい。
95	公営住宅管理システム	意見	【意見】利用されていないIDや不要に存在するIDが放置されないよう利用者ID及び特権IDの棚卸し点検に関する方法・手続を明文化し、また、その申請や承認の記録を残すことが望ましい。	利用者ID及び特権IDの棚卸し、点検のルールについて、令和2年4月に情報セキュリティ実施手順の中で整備した。これ以降、当該ルールに基づき棚卸し点検を行い、その申請や承認の記録を保存している。
104	ICTガバナンス	意見	【意見】「かがわICT利活用推進計画(平成31年3月)」は、AIやIoT等の最先端のICT利活用含め、中長期的に取り組む課題や施策が多い。そのため、外部環境及び庁内環境等の変化に応じた年次の見直しはもちろんのこと、継続的な取組とするため令和4年度(2022年度)以降の次期ICT計画を切れ目なく策定することが望ましい。	「かがわICT利活用計画」の取組みを継続的なものとするため、来年度には次期計画策定に着手したい。
104	ICTガバナンス	意見	【意見】情報政策課は、経営課題をICTで解決するための仕組みや技術を有効にシステム所管課に提案するために、経営や事業に直接的に貢献する機能を強め、従来以上に能動的な姿勢に移行することが望ましい。	経営課題をICTで解決するための仕組みや技術のシステム所管課への提案については、これまでも「かがわICT利活用推進計画」の策定過程で行ってきたところであり、来年度着手する予定である次期計画策定において、さらなる提案を行っていきたい。
105	ICTガバナンス	意見	【意見】AIやIoT等の最先端のICTを導入するためには、(従来のICT大手ベンダーのみではなく、)スタートアップ企業を含めた民間の優れたアイデアの取り込みや調達・契約の仕組みを整備することが望ましい。	民間の優れたアイデアの取り込みや調達・契約の仕組の整備について、現在検討しているところであり、その結果を令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
107	ICTガバナンス	意見	【意見】近年多様化が進んでいるシステム形態やシステム化の目的に応じて、「情報システム調達事務マニュアル」の「企画(システム化計画)」に関する内容を拡充することが望ましい。	調達事務マニュアルの「企画(システム化計画)」に関する内容の拡充について、現在検討しているところであり、その結果を令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。
108	ICTガバナンス	意見	【意見】上記(ア)に加え、「企画(システム化計画)」の実施を促すよう、予算要求前申請書等の様式に、「目的」「現行の課題・問題点とその方向性」「期待される効果(定量)」「同(定性)」「想定されるリスク」等の記入欄を追加することが望ましい。	予算要求前申請書等の様式に、「目的」「現行の課題・問題点とその方向性」「期待される効果(定量)」「同(定性)」「想定されるリスク」等の記入欄を追加することについて、令和3年3月までに予算要求前申請書等の様式に反映する予定である。
109	ICTガバナンス	意見	【意見】調達開始前審査等で用いている「情報システム調達審査委員会申請書類チェックリスト」に関して、仕様書、契約書(案)についてはチェック項目(特に情報セキュリティに関するチェック項目)を拡充することが望ましい。	令和2年3月に、「調達審査委員会申請書類チェックリスト」において契約書や仕様書に明記すべき情報セキュリティ要件の記載に関するチェック項目を追加した。
110	ICTガバナンス	意見	【意見】個人情報(特定個人情報含む。)を保有しているシステムについては、香川県が外部委託事業者や情報システムに求めている情報セキュリティ要件を、全て網羅的に仕様書や契約書へ明記することが望ましい。	令和2年3月に、外部委託事業者に求められる全ての情報セキュリティ要件が網羅的に記載された要件一覧(ひな形)を作成したところであり、個人情報を保有しているシステムについては、原則として、当該要件一覧の全ての要件を仕様書に明記させている。
110	ICTガバナンス	意見	【意見】システム所管課がチェックを行いやすいよう、「実施計画書」や「要件定義書」、「設計書」、「テスト結果報告書」の例示や、それらの成果物のチェックポイント集等を作成する、あるいはICTの知見・経験が高いものによってそれらの成果物の内容をレビューし、チェックすること等が望ましい。	情報システムの開発委託に係る「実施計画書」、「要件定義書」、「設計書」、「テスト結果報告書」等のドキュメント類のサンプルや、業者からこれらのドキュメントの提出を受けた際にチェックすべきポイント等について、令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。

令和元年度 包括外部監査（意見）

報告書 ページ	項目	区分	内容	講じた措置等
111	ICTガバナンス	意見	【意見】システム所管課がチェックを行いやすいよう、「業務実施計画書」や「運用状況報告」の例示や、それらの成果物のチェックポイント集等を作成する、あるいはICTの知見・経験が高い者によってそれらの成果物をレビューすること等が望ましい。	情報システムの運用保守委託に係る「業務実施計画書」、「運用保守実績報告書」等のドキュメント類のサンプルや、業者からこれらのドキュメントの提出を受けた際にチェックすべきポイント等について、令和3年3月までに調達事務マニュアルに反映する予定である。
111	ICTガバナンス	意見	【意見】システム企画時に予算要求前調達審査委員会で協議・検討した内容を、運用開始から一定期間後にフォローアップする場を設けることが望ましい。	システム企画時に予算要求前調達審査委員会で協議・検討した内容を、運用開始から一定期間後にフォローアップする仕組みについて、現在検討しているところであり、令和3年3月までに導入する予定である。
112	ICTガバナンス	意見	【意見】情報セキュリティ実施手順を策定するシステムを増加させるため、情報政策課が率先して、情報セキュリティ実施手順のひな型を作ることが望ましい。	令和2年3月に、情報政策課において情報セキュリティ実施手順のひな形を作成し、庁内の個別システムの所管課に提供した。
112	ICTガバナンス	意見	【意見】職員が香川県情報セキュリティポリシーの内容を一定に理解し、その規定を遵守しないとどのようなリスクがあるのかまでの理解できるようにするため、同ポリシー内の抽象的な表現や解釈が難しい内容に関する逐次解説のような文書等を策定し、職員一人ひとりの理解を促すことが望ましい。	令和3年3月までに、情報セキュリティポリシーの解説集を作成する予定である。
113	ICTガバナンス	意見	【意見】情報セキュリティ内部監査機能を強化することが望ましい。	今年度の情報セキュリティ内部監査では、本監査において指摘や意見をいただいた内容を監査対象に加えるとともに、監査人（当課の職員）への事前研修の内容をより充実させる予定である。